

八碁連だより

令和5年11月号 385号



観音寺（万町）

発行日 令和5年11月1日

発行所 八王子囲碁連盟

住所 八王子市大和田町

6-3-29-1119

電話 042-646-0783

発行者 池田 正三

編集者 荒畑 昭一



<https://hachigoren.com>

八王子囲碁連盟

巻頭言



碁盤と碁石

長房囲碁同好会 池口 隆久

乙媛旅館の主であったか、千人町に趣味で碁会所を開いていた鹿島さんから、榎の碁盤を貰った。話によると鹿島さんは榎の木を買い求め（4～5年間自然乾燥させたか、それは知らない）、碁盤をいくつか作らせたらしい。碁会所に碁盤がいくつか並んでいた。

私は、1ヶ月分の給料をはたいて榎の碁盤を譲ってもらった。鹿島さんに教わった通り椿油を少ししみこませた布切れで乾拭きは怠らなかった。

兄の友人の大横町のたんす店に頼んで、桐板のカバーを造ってもらった。

平成16年6月に、さる旅行会社のツアーに参加した。台風が予想されたが、旅行社は実施すると言う。やむなく出かけたが、実は台風の真っ只中に飛び込んだようなものだった。那智の滝は全く見えず、空から風呂桶をひっくり返し

たような雨が落ちてきていた。バスを降りて、熊野那智大社まで朱印を求めに行くのが、大ごとだった。結局神社へ参拝に出かけたのは私一人。バスから降りるのをためらう人が多かったくらいだから那智大社から戻る途中、参道沿いの店に並んでいた碁石（本那智黒 36 号）が気に入り、それを買い求めてきた。

同じ旅行社のツアーで中国に行った時、万里の長城付近の店先で見た「メノウの碁石」がどうしても欲しくて、好奇心に駆られてやはり買ってしまった。那智黒・日向蛤のとはちがって、指になじみにくいが、宝石で遊んでいるつもりで盤上に並べている。碁石の表面に微妙な模様がうかび上がっており、なかなか味があってよらしい。今では、ひとりで棋譜を並べるときはこの「メノウの石」にしている。

理事会議事録



令和5年度 第6回理事会議事録

日時：令和5年9月30日（土曜日）9時00分～12時00分

場所：大横保健福祉センター 第1会議室（1階）

出席者：池田、澤田(議事録作成)、木村、端山、荒畑、金本（理事報告後退席）

会長報告

- ・9月12日、八王子市民文化祭囲碁大会募集チラシを各同好会長へ送付。
- ・9月17日、八王子市民文化祭囲碁大会の市長賞の依頼文書を学園都市文化課へ提出。
- ・9月17日、今年の傘寿表彰対象者について各同好会長へ報告依頼。
- ・9月23日、今年の本部大会（市民文化祭囲碁大会、三段以上大会、二段以下大会）の競技委員派遣を各同好会長へ依頼。
- ・9月23日、八王子市子ども囲碁大会の後援名義実績報告書を学園都市文化課及び生涯学習課へ提出。
- ・9月24日、生きいき大会（長房大会）へ出席。
- ・日本棋院八碁連支部行事の級位認定囲碁大会（10月22日）の協力体制につ

いて、別途打ち合わせを予定。(南常任幹事出席)

- ・ 12月の会長会は大横保健福祉センター予約済み。(12月23日、午後、第4会議室)

各理事報告

- ・ 各同好会長宛てに配布されている八碁連だより「巻頭言提出輪番表」の提出日は、守って頂くよう再度お願いしたい。
- ・ 10月号の巻頭言原稿が未だ届いてない状況であり、該当同好会へ連絡の上、対応したい。
- ・ 会長作成の囲碁大会のルール・マナーについては、内容了解。(会長会に提示し、生きいき大会での競技ルール説明に使用予定)
- ・ 来年3月の総会を除いてすべて会場予約済み。
- ・ 今年12月まで大横保健福祉センターの団体登録の更新申請が必要となる。
- ・ 今年度の各同好会の生きいき大会(8箇所)の収支状況(長房同好会作成中含まず)は、ほとんどの同好会で赤字の状況にある。



議案討議事項

- 1 来年1月28日の同好会対抗囲碁大会の競技方式案(たたき台)について
討議の結果、1チーム3名を基本に多摩地区市町対抗囲碁団体戦の競技方式を参考に木村理事の作成した案で10月の理事会で検討。
- 2 11月3日の八王子市民文化祭囲碁大会について
討議の結果、参加者締め切り後、木村理事で参加者のクラス分けを行った上で、大会準備作業、当日の実行体制を会長が作成し、10月の理事会で打ち合わせの上決定。
当日は、文化連盟理事宮崎氏、南大沢同好会武中氏(スイス方式指導)の出席を依頼する。(会長)
- 3 傘寿表彰者への記念品について
討議の結果、去年の記念品と同じ「格言湯呑茶碗」に決定。
- 4 その他
 - 子ども囲碁大会の来年に向けての対応
 - ・ 募集時期が夏休み時期にかかり、参加者が少なかった。



今年の子ども囲碁大会

- ・大会時期、囲碁案内人の協力を含めて参加者を増やすよう検討する。
- 級位認定囲碁大会（10月22日）への協力体制
 - ・日本棋院八碁連支部主催の本大会について、南常任幹事作成の実施要綱を基に、囲碁用具の準備、競技委員、写真撮影、認定状記名などの業務に対して理事の協力を行うことを決定。（4名）なお、囲碁用具については恩方農業改善センター保管の持ち回り用具を使用予定。
- 次回理事会は11月25日(土)、9:00～
場所 大横保健福祉センター第1会議室

お詫びと訂正

10月号において第31回活きいき大会（長房大会）結果の報告でAクラス優勝者の名前に誤字がありました。本号で訂正しお詫び申し上げます。

正：相澤 秀一（浅川）

誤：相沢 秀一（浅川）

お知らせ

★第33回八碁連囲碁大会（二段以下）

主催 八王子囲碁連盟（後援日本棋院、八王子市）

会場 東浅川保健福祉センター4階

開催日 11月26日(日) 午前9時10分から受付

競技方法 4～5クラス別のハンディ戦（八碁連方式）

会費 1,000円（昼食代を含む）

申込 各地区同好会会長を通して申し込む（八碁連会員に限る）

申込先 八碁連競技担当 木村 勇 宛

Eメール isamudesu606@gmail.com

申込期限 11月12日（日）

当日は傘寿表彰を行いますので対象者は出席願います。（二段以下の者）

★会長会の開催案内

今年度の会長会は、以下のとおり予定しています。議題は後日、各会長にメールでお知らせしますのでよろしくをお願いします。

1. 期日 令和5年12月23日(土)、13時～ 2時間程度
2. 場所 大横保健福祉センター第4会議室
3. 議題 後日連絡
4. 出席者 各囲碁同好会長、各理事

★初心者教室の場所の変更

今まで初心者教室を長房市民センターで続けていますが、2024年1月13日の第2土曜日より、改修が終わる東浅川保健福祉センターに戻します。

- ・日 時 毎月第2, 3, 4土曜日 午後1時～4時
- ・指導者 吉田 旭 ・端山 昌夫・久島 世次
- ・連絡 成田 滋 090-8574-8860

日本棋院八碁連支部コーナー

常任幹事 南 正一郎

八碁連大会と同時開催で、指導碁を以下の要領で実施致しますので奮ってご参加下さい。

第18回指導碁の募集

- 日本棋院 吉原由香里六段による指導碁
- 日 時 令和5年11月26日(日) 10時より
- 場 所 東浅川保健福祉センター4階
- 参加資格 三段以上の八碁連会員
- 募集人数 12名(先着順で締め切ります。)
- 参加費 2,000円(参加者には粗品を進呈します)
- 内 容 第1ラウンド 10時30分～12時00分

第2ラウンド 13時00分～14時30分

第3ラウンド 14時45分～16時15分

尚、各ラウンドは4面打ちとし、ラウンド順は前以て連絡します。

申込先 南 正一郎 TEL・fax 663-5446

メール sminami0003@yahoo.co.jp

締切 11月12日(日)

第7回級位認定囲碁大会の結果報告

去る10月22日(日)東浅川保健福祉センターに於いて第7回級位認定囲碁大会が行われました。4年ぶりの開催で、参加者は41名、内小学生3名で、緊張した雰囲気の中にも和気あいあいとした微笑ましい光景が随所に見受けられました。特に小学生が楽しそうに対戦していたのが印象に残りました。対局は4回行われ、3勝1敗以上で昇級された方々には日本棋院の認定状と賞品を、4戦全勝の方々には免状が進呈されます。成績は以下の通りです。(敬称略)

Aクラス(23名) (1級～3級)

萩原 勝美(一般) 4戦全勝 2級→1級へ
刑部 守彦(長房) 4戦全勝 3級→2級へ
小野 重治(恩方) 3勝1敗 2級→1級へ
鷹取 宏(初心者教室) 3勝1敗 3級→2級へ
宮野 光夫(浅川) 3勝1敗 3級→2級へ



参加者全景

Bクラス(18名) (4級以下)

原 健(長房) 4戦全勝 4級→3級へ
井手 栄治(一般) 4戦全勝 7級→5級へ
西村 旭(長房) 3勝1敗 4級→3級
佐藤 俊男(初心者教室) 3勝1敗 5級→4級
小山 栄一(恩方) 3勝1敗 5級→4級
末永 道子(一般) 3勝1敗 7級→6級へ
小倉小代美(長房) 3勝1敗 7級→6級へ



対局風景

投稿

八寸の榧の碁盤を伊藤章紘君に贈呈

南大沢囲碁同好会 小川浄二

最近、七段の小学3年生と2度打つ機会がありました。楽しくもありちょっぴり緊張するものです。負けることの不安です。この生徒の名前は伊藤章紘君といいます。現在岩田子供教室(岩田九段)に入門して研鑽を積んでいます。対局態度は落ち着きがあり好感が持てます。少し早打ちですが、大事なところはじっくり読みを入れるのを忘れません。辛くも2目残りしました。

ところで横浜在住の友人より従兄の方が愛用されていた材質が榧(かや)で厚さ八寸(24.2センチ)の碁盤と10ミリの日向蛤、那智黒の碁石をどなたかに寄贈したいとの申し出がありました。その依頼を受けたとき、私は伊藤君が頂くのが最適任と思いました。

樹木図鑑によれば、榧は直径1メートルに成長するには100年かかります。美しい木肌や木目で表面は光沢があり、油分が豊富で適度の堅さと弾力があります。使えば使うほど淡黄色の艶がでてくるといわれます。そして特有の香りは気品にあふれるとの解説です。碁盤としては最高級品といわれます。

日本棋院の幽玄の間でプロ棋士の対局で使われるのと同じ碁盤です。伊藤章紘君のことです。2022年8



伊藤章紘七段への榧の八寸盤贈呈式



月に東浅川保健福祉センター主催のこども囲碁教室にやってきました。席亭の南正一郎氏は伊藤君の棋力を知って八王子囲碁センターを紹介し、爾来毎週日曜日に倉内 満八段の指導を受け始めました。

あっという間に六段になり、第五回多摩地区市町対抗囲碁団体戦で八王子チームの一員として選ばれました。最近岩田九段より七段のお墨付きを頂いたようです。そして院生となり将来はプロ棋士という高みを目指しています。

9月3日に八王子囲碁センターで伊藤君への碁盤と碁石の贈呈式を行いました。伊藤君のお父さん、倉内満先生や帖地美乃里先生、南正一郎氏、成田滋氏らが同席しました。早速この分厚い櫃の碁盤で伊藤君と試し局を楽しみました。日向蛤が盤面に沈むようななんとも形容し難く、味わい深い感触でした。

(2023年9月4日)

【編集後記】

将棋の若き棋士が最高峰のタイトルを争う、その会場が「能楽堂」というニュース、新聞写真を見てびっくりした。通常は、有名ホテルか旅館が相場、それもやむを得ない所か、っと、いつも思っていたが、よりによって、今回は、文化芸能の頂点ともいべき会場であり、内心、「ちょっとやりすぎじゃない？」という感はぬぐえなかった。が、着物姿が「絵になるな」とも、一方では思った。

振り返って、囲碁の人気は今一、囲碁にも七冠達成の偉人はいるが、どうもマスコミが寄って来ない。どうしてなのか？ 未来ある若い囲碁棋士に頑張ってもらいたい。本誌「投稿」にある、伊藤彰紘君、大きな期待を寄せています。

表紙は「観音寺山門」。徳川、江戸幕府の「八王子千人同心」、その組頭の居宅から移築したという、もとの職業は、農民なのに、頭となると、さすがにすばらしいものを使っていたものである。(S・A)



観音寺本堂